

記入日 2025 年 10 月 29 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2026 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	田代莉咲子
立候補する役職	会長
大学/学部/学科	昭和医科大学/薬学部/薬学科
学年	3 年
所属	財務部、広報部、プロモーション部、国際渉外部、交換留学委員会、地域連携委員会、薬学総合委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2023 年 外務部、公衆衛生委員会 所属 2024 年 副会長 2025 年 副会長内務理事
立候補動機	私は約 2 年間副会長として団体運営に携わり、多くの貴重な経験を積むことができました。これまでの活動は学生のうちにしか得られない経験であると同時に、学生だからこそ価値のあるものであったと思います。今後は組織体制を整え各部門が円滑に運営できるよう支援することで、会員一人ひとりが楽しみながら主体的に活動することのできる環境をつくりたいと考えています。この想いを胸に、会長に立候補いたします。
問題点と改善案	・各部署統括及び委員長の負担が大きい ・スタッフの参画機会が限られている →各部門に副リーダー(副統括・副委員長)を設置する 現在、本部や各部門において、統括及び委員長に活動が集中していることが課題となっています。多くの活動が限られたメンバーに依存しており、結果として活動効率の低下や学修との両立の難しさが生じています。 また、スタッフが参画できる機会が限られていることから、意欲のあるスタッフが十分に力を発揮することができていません。 現状でも一部の部門では副リーダーが存在しリーダーを支える体制が機能していますが、団体全体としては統一されておらず他の部門では十分に整備されていないのが現状です。 この状況を改善するために、各部門に副リーダーを設置することを提案します。 副リーダーを設置することでリーダーの負担を軽減するとともに、運営体制に余裕が生まれることでイベント数の増加や新たな企画の立案が可能となり、スタッフの参画機会を増やします。 また、副リーダーが補佐をしながら経験を積むことで将来的なリーダー層の育成にもつながります。 副リーダーの在り方は部門ごとに様々だと考えられ、また、新体制となるため模索しながら進めていくことになると思われます。 そのため、会長として各部門のリーダー・副リーダーの双方を丁寧にフォローし、役割分担や連携が円滑に進むよう支援していきます。 既存の副リーダー制度を基盤に、各部門の特性を尊重しつつも団体としての方向性を揃えることで、より持続的で安定した団体運営を目指します。 ・本部内での情報共有不足 →本部月例ミーティングで共有の時間をつくる 昨年度に比べて部門を超えた関わりが増えたことにより、部門間および本部内での情報伝達に課題が見られました。そして、課題の内容や対応方法が本部全体で共有されておらず、今後も同様の問題が繰り返される可能性が示唆されます。 また、会員数の増加や地方での活動拡大、イベントでの成功事例などのポジティブな出来事についても共有の機会が限られており、本部全体で成果を実感する機会が少なくなっているのが現状です。 その結果情報が一部に偏り、団体全体としての一体感やモチベーションの維持が難しくなっています。

	この状況を改善するため、本部月例ミーティング内に共有の時間を設けることを提案します。 現在は今月の活動報告や振り返り、来月の活動計画などを共有していますが、それに加えてトラブルや課題の報告、さらには会員数増加や地域活動の広がり、会員から寄せられたポジティブな声などを積極的に共有します。 「今月は会員が何人増えた」「会員から『楽しかった』『学びになった』という声をもらった」などの成果を目に見える形で共有することにより、本部全体で前向きな雰囲気をつくることができると考えます。 情報共有の時間を単に問題点を指摘する場ではなく、成果を称えあい学びあう場とすることで、課題の解決とモチベーションアップの両立を図ります。
活動計画	[上半期] ・1年間の活動方針の決定 ・年間スケジュール作成 ・新入生歓迎会 [下半期] ・上半期の反省を踏まえた活動方針の見直し ・薬学生ジャンボリー ・年会 ・事業報告書の作成 [通年] ・本部ミーティング ・面談への参加 ・団体紹介
所信	私は今年度、2年目の副会長として団体運営に携わり、昨年度以上に多くの会員やOBOGの先輩方と関わる中で、日本薬学生連盟という組織の力を改めて感じました。 全国の薬学生がつながり、互いに刺激を与えあいながら成長することのできるこの環境は、日本薬学生連盟の最大の魅力であると考えます。 その一方で、私自身も団体としても、さらに成長できる余地があることを感じています。 副リーダー制度を導入することで会員の参画機会を増やす仕組みを築くとともに、本部内の情報共有を活発化させ、ポジティブな出来事も課題も共有しやすい環境を整えます。 そして何よりも、「学生らしさ」を大切にしたいと考えています。 「楽しそう!」「やってみたい!」 そのような学生ならではのエネルギーこそが、学生団体の原動力です。 その力を最大限に引き出し、会員が多くの仲間と刺激しあいながら主体的に活動することのできる団体作りに努める所存です。